

## 7. 外来・病棟この一年 平成 30 年度



### 平成 30 年度外来医長を振り返り

平成 30 年 5 月～ 10 月 外来医長 村岡 秀 崇

平成 30 年 11 月～平成 31 年 4 月 外来医長 津 田 有 輝

平成 30 年度循環器内科・腎臓内科の外来医長を務めさせていただきました村岡秀崇です。日頃より同門の先生方には多くの患者さんをご紹介して頂き、この場を借りて感謝申し上げます。私が、2年前に引き続いて火曜日の新患者さんの振り分け係を担当し、金曜日は穴井玲央先生に担当して頂きました。循環器内科および腎臓内科の外来担当の先生方には定期的外来業務の中、新患者さんの担当をお願いする形となり、大変ご迷惑をおかけしたと思います。一方で、外来患者さんにおきましても状況によってはかなりの時間お待たせすることになり、ご迷惑をおかけしました。当院は大学病院の特色上学生教育の一環として外来実習があり、紹介患者さんの中には実習のご協力をして頂くこともありました。

できるだけ外来業務が円滑に進むよう、外来日の前日に予習(?)をして当日の外来業務に臨みましたが、怒濤のごとく時間が過ぎて気が付けば午後になっているパターンの繰り返しでした。外来担当の先生方はもちろん、外来担当の看護師さん、その他のスタッフの方々のご協力の下何とか乗り切っていたと思います。感謝申し上げます。

11月より急遽産業医大若松病院で勤務することとなり、津田有輝先生に外来業務をお願いする形となり、大変ご迷惑をおかけしました。ありがとうございました。

当施設は、診療・教育・研究を担当しておりますが、その場に患者さんがいなければ成し得ないことでもあります。至らぬ点多々あるかと思いますが、今後とも、循環器内科・腎臓内科外来へのご理解・ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

(文責：村岡秀崇)





## 平成 30 年度病棟医長を終えて

病棟医長 穴井 玲 央

平成 30 年 5 月より前任の坂東健一郎先生より平成最後の病棟医長を引き継がせて頂きました、穴井玲央と申します。

近隣の同門の先生方からの沢山のご紹介のおかげで、今年度も入院患者数は増加し、第 2 内科としては過去最高の入院患者数でした。

今年度は定床 36 人に対して年間平均 40.0 人、瞬間最高 60 人、平均在院日数 11.0 日、稼働率 111% (昨年 +4%)。これは私が修練医時代の 10 年前と比べて約 1.2 倍に入院患者数が増え、平均在院日数は 1.5 倍短くなった計算です。この入院患者数が増えた要因として尾辻病院長の取り組みで、以前に比べ他病棟での入院のハードルが低くなり、空床利用による急患への対応が可能となったことが入院患者数増加の一因と思われます。

病床管理に関しては、8A 病棟は常に病床稼働率 100%でしたが、8A の岩田師長をはじめ、いつも空床利用を調整して頂いた小野師長など多くのスタッフが努力して頂いた結果だと感じております。この場を借りてここから感謝申し上げます。そして、なによりも沢山の入院患者さんを主治医として担当して下さった修練医、修練指導医、大学院生の先生方は本当にご苦労様でした。特に修練医の先生達(石井先生、角森先生、中村先生、永井先生)には沢山の急患を快く受けて頂き本当にありがとうございました。ときには「バイトから帰ってきたら ICU」(バイトから帰ってきたら、いつも ICU に患者が増えている)こんなぼやきを聞いて、いつも心を痛めていました。1 年を通じて、特に病棟閉鎖などの大きなトラブルに遭わず(ノルウェー疥癬がでて、バルサンを炊かれたことはありましたが…)、教授回診にも遅刻せず無事 1 年間乗り切ることができたのも皆様のサポートのおかげです。

個人ごとではありますが、昨年妻が出産のため里帰りした際は 1 ヶ月ほど小学生と幼稚園生の子供 2 人と 3 人暮らしとなり、定時で帰宅していました。その節は副病棟医長の坂東先生、医局長の津田先生をはじめ、多くの先生方にご迷惑をおかけしたと思いますが、なんとか乗り切ることが出来ました。

昨今、働き方改革が叫ばれるなか、歴代の病棟医長の先生方は非常にブラックな環境で多忙な業務をこなされていたことを目の当たりにしていました。現在は 8A 病棟には医療事務作業補助のスタッフも追加され、回診時の入院患者一覧など、これまでかなりの時間を費やされていた作業の一部を負担して頂いています。

新元号となった、令和元年 5 月より林篤志先生が令和最初の病棟医長を担当して頂きます。

私も副病棟医長として、サポートさせて頂きます。今後とも第 2 内科学、8A 病棟をよろしくお願い致します。1 年間、誠にありがとうございました。



### 循環器内科・腎臓内科診療実績

	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
産業医科大学病院 全体診療報酬(百万円)	13,584	15,185	15,564	16,212	17,718	18,291	19,947	20,496	20,074	21,104	20,972	21,265	22,533
循環器内科・腎臓内科 診療報酬(百万円)	1,058	1,294	1,286	1,280	1,350	1,430	1,469	1,713	1,575	1,655	1,692	1,732	1,771
平成18年度に対する 伸び率	—	22.30%	21.55%	20.98%	27.60%	35.16%	38.85%	61.90%	48.87%	56.43%	59.92%	63.71%	67.39%
病院全体に占める割合	7.80%	8.50%	8.30%	7.90%	7.62%	7.82%	7.36%	8.36%	7.85%	7.84%	8.07%	8.14%	7.86%
<外来>													
循環器内科・腎臓内科 外来患者総数	15,655	15,829	15,887	15,381	16,548	15,331	15,131	15,091	14,298	14,555	15,332	15,105	14,580
循環器内科・腎臓内科 外来診療報酬(百万円)	233	307	301	318	343	348	352	395	352	344	428	415	425
平成18年度に対する 伸び率	—	31.8%	29.2%	36.5%	47.2%	49.4%	51.1%	69.5%	51.1%	47.6%	83.7%	78.1%	82.4%
病院全体に占める割合	5.6%	6.6%	6.2%	6.1%	6.0%	5.6%	5.5%	5.9%	5.4%	4.9%	6.0%	5.6%	5.6%
外来紹介率(%)	86.9%	88.7%	95.4%	93.0%	98.4%	97.8%	95.5%	95.5%	92.9%	95.2%	98.8%	91.5%	92.0%
<入院>													
循環器内科・腎臓内科入院 患者総数(年間延べ人数)	12,333	12,552	12,494	12,095	11,123	11,697	11,981	13,023	13,054	13,251	13,420	14,103	14,585
新入院患者数 (うち数)	596	634	718	720	851	865	953	966	1,044	1,134	1,109	1,161	1,215
循環器内科・腎臓内科 入院診療報酬(百万円)	825	987	986	962	1,007	1,082	1,117	1,318	1,223	1,311	1,264	1,316	1,346
平成18年度に対する 伸び率	—	19.6%	19.5%	16.6%	22.1%	31.2%	35.4%	59.8%	48.2%	58.9%	53.2%	59.5%	63.2%
病院全体に占める割合	8.7%	9.4%	9.2%	8.8%	9.0%	8.9%	8.3%	9.5%	9.0%	9.3%	9.1%	9.5%	9.3%
稼働率	105.6%	107.2%	107.0%	103.6%	95.7%	99.9%	90.5%	99.1%	99.3%	100.6%	102.1%	107.3%	111.0%
平均在院日数	19.6日	18.7日	16.5日	15.5日	11.9日	12.5日	11.5日	12.3日	11.4日	10.8日	11.1日	11.1日	11.0日